

バージョンアップ時のお役立ち情報

2026/01/22

株式会社セゾンテクノロジー
カスタマーサクセス本部
カスタマーサービス部
HULFTテクニカルサポート課
加納 和美

◆自己紹介

名前：加納和美

所属：カスタマーサービス部HULFTテクニカルサポート課

サポート内ではL2/SV兼任、Mainframe版HULFTが得意

入社：2018年1月入社



◆これまでの職務経歴

入社前：主に製造業、生保基幹系システムのMainframeアプリ開発

入社後：他部門配属後、2020年からHULFTテクニカルサポート課へ

◆ AGENDA

1. システムファイルのコンバート時の注意点
2. 集信ジョブ、要求受付ジョブの[PARM]について
3. z/OSの「CAレクラメーション処理」ご利用の推奨

1.システムファイルコンバート時の注意点

HULFT7からHULFT8へのバージョンアップされたお客様から
以下のようなお問い合わせをよくいただいていた

バージョンアップ後にHULFTの管理情報の
コメントが文字化けした原因は
何でしょうか？



[HULCHARSET]の指定値が原因かもしれません

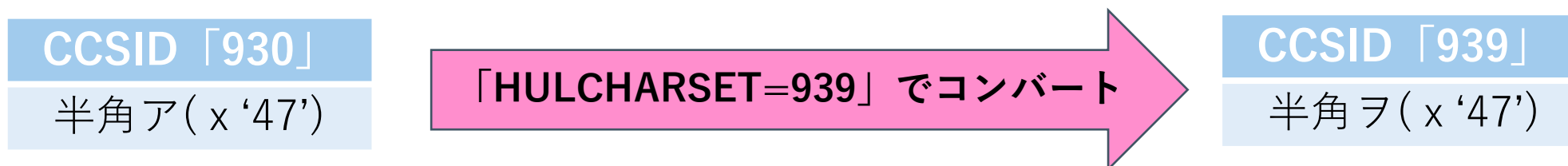
[HULCHARSET]とエミュレータのCCSIDは同一の値を指定する必要があります

✓ [HULCHARSET]とは？

HULFTで使用するメッセージ、コメントなどで使用するCCSIDを指定する項目
バージョンアップ時のシステムファイル等のコンバート時にも使用します

```
***** **** Top of Data ****
000001 //XRFILCNV JOB CLASS=A,MSGCLASS=B
000002 //XRFILCNV EXEC PGM=XRFILCNV,REGION=1024K,PARM=' V8 HULCHARSET=939'
000003 //STEPLIB DD DSN=HULFT.LOAD,DISP=SHR
000004 //XPRKUP DD DSN=HULFT.FILE.BKUP,DISP=SHR
```

例)CCSID「930」で入力した半角カナ「ア(x'47')」をCCSID「939」でコンバートすると…



つまり、集配信管理情報ファイルがCCSID「939」でコンバートされるので、
エミュレータのCCSIDも「930」ということならCCSID不一致で文字化けの原因に

2.集信ジョブ、要求受付ジョブの[PARM]について

EXECステートメントのPARMで以下の指定はされてませんか？

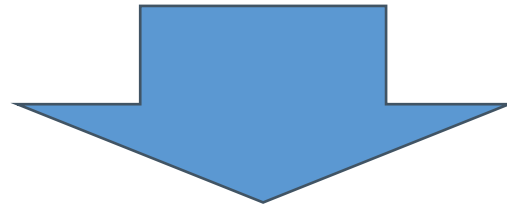
- 集信アプリ名(APPLNM)
- 集信多重度(MAX-CON)
- 要求受付アプリ名(APPLNM)
- 最大同時要求受付数(MAX-CON) など…

HULFT8では上記PARMでの設定を非推奨機能にしました
[システム動作環境設定]内に同等の設定項目を追加し、
[システム動作環境設定]での設定を推奨しています

非推奨機能とは？

下位バージョンとの互換性のために残されている機能

- ✓次期バージョン以降で廃止される可能性がある
- ✓非推奨機能に対して機能拡張や改善は実施されない



ぜひ、HULFT10へのバージョンアップを機に
[システム動作環境設定]での指定への変更をご検討ください

3.z/OSの「CAレクラメーション処理」ご利用の推奨

HULFT7からHULFT8の間で「集配信履歴ファイル」の最大レコード長が大幅に増加

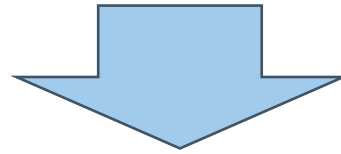
集配信履歴ファイル	HULFT7レコード長	HULFT8レコード長	HULFT10レコード長
ファイルIDキーファイル(XRLOG)	平均570 最大1000	平均4000 最大4000	平均1600 最大1600
ホスト名キーファイル(XRLOG1)	平均570 最大1000	平均4000 最大4000	平均1600 最大1600
日付キーファイル(XRLOG2)	平均570 最大1000	平均4000 最大4000	平均1600 最大1600

- 必要容量が増加したことでファイルのパンク頻度増加
- 不要なレコードを削除してもDASDの未使用領域の効率的な再利用ができない

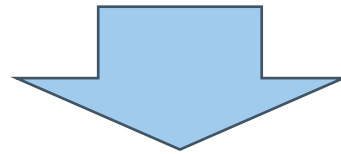
⇒XRT0010 LOG DATA ACCESS ERROR RC=801C に至る

集配信履歴ファイルの再編成プログラム(XRREORG)

⇒ DASDの未使用領域を効率的に使用するために実行するプログラム



z/OSの場合OSの機能である「CAレクラメーション処理」があります



「有効」にすることでDASDの未使用領域を効率的に再利用できます
つまり、XRREORGの定期的な実行も不要になります

◆HULFT10へのバージョンアップ時のポイント

1. システムファイルコンバート時には[HULCHARSET]の設定値を確認しよう
⇒ [HULCHARSET]とエミュレータのCCSIDは一致しているか？
2. 集信/要求受付ジョブの[PARM]の設定値は[システム動作環境設定]で指定しよう
⇒ [PARM]は今後廃止の可能性があるので変更を検討する
3. z/OSの「CAレクラメーション処理」を利用して効率的な運用をしよう
⇒ XRREORGの定期実行ではなくOSの機能の利用を検討する

その他HULFT10へのバージョンアップ関連の情報として…
技術サポートサイトに「バージョンアップのお役立ち情報」をまとめています

https://www.hulft.com/tech-support/advantage/hulft10_vup

ホーム > お役立ち情報発信Base > サポートのプロが厳選したバージョンアップ情報(HULFT10編)

よろしければ上記サイトもご活用ください

バージョンアップに関してご不明な点、不安な点のご相談は
お気軽にHULFTテクニカルサポートセンターへご連絡ください



< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。